

令和6年能登半島地震

TMAT 災害医療活動報告

2024年2月10日 7:00

第39報

2月9日

8:00

TMAT チーム内ミーティング

9:00頃

ふれあい健康センター内ミーティング

本日より10:30からの医療者ミーティングは終了

本隊第7陣7名が活動を終え金沢駅に向けて出発

ふれあい健康センターの本来の機能に戻していくため、

避難部屋の集約や、空いた部屋の清掃・使用済みの段ボールベッド等の破棄物の集約など環境整備を主に実施

12:00頃

本隊第7陣が金沢駅へ到着、それぞれの帰路につく

12:30

輪島市保健医療調整本部及び輪島地区医療調整会議に出席

15:00

体操、個別リハビリ

2階遊具周りの避難者さんの移動先の部屋準備。

16:00

ふれあい健康センター内ミーティング

今後の感染フローチャート作成

保健師、避難者へ部屋移動の説明を実施

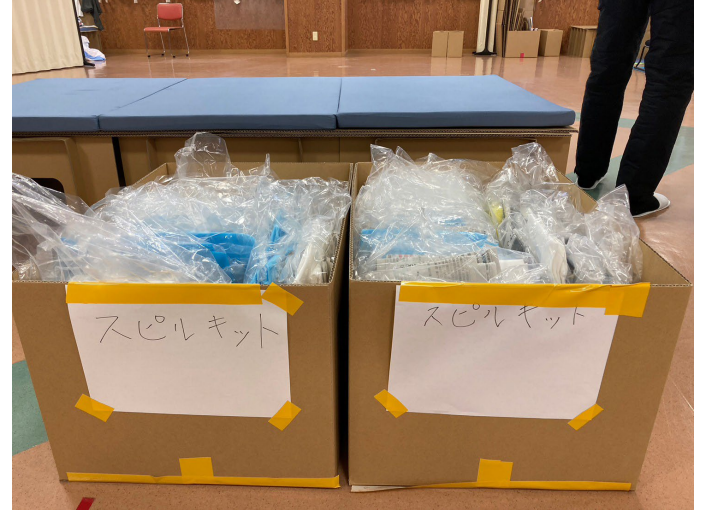
18:00

TMAT チーム内ミーティング

明日久保看護師が撤収予定のため、リーダーを村上看護師・サブリーダーを佐野看護師が引き継ぐ



空いた部屋の環境整備



TMAT 撤収後に使えるように
スピルキットを大量に作成

2月3日をもって、令和6年能登半島地震 TMAT 支援活動のクラウドファンディングの募集を終了しました。多くのご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

TMAT は2月以降も輪島市で支援を継続しています。引き続き支援のご協力をお願いしております。

TMAT 令和6年能登半島地震被害支援への寄付ページ

<https://congrant.com/project/npotmat/10661>

A banner with a green background and white text. On the left, there is a photograph of volunteers in orange vests interacting with people. The text on the banner reads: "令和6年能登半島地震被害支援へのご協力をお願いします" (We request your cooperation for disaster relief for the Great East Japan Earthquake in 2024). Below this, it says: "TMATは輪島市への支援活動を実施しています" (TMAT is implementing support activities for Rishiri City) and "引き続きご支援ご協力をお願いいたします" (We request your continued support and cooperation). On the right side of the banner is a QR code with the TMAT logo in the center.

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT 事務局長/一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT 事務局/一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋